

まちの話 だい

9月20日 | 2万年前の空気を体感

環境教育の一環として、六合小学校で「南極クラス」が開催され、5年生約90人が参加しました。

講師は、今春まで約1年5カ月間、日本南極地域観測隊員として南極に派遣されていた佐藤啓之さん。児童たちは、シャボン玉が凍る動画を見たり、実際の南極氷から2万年前の空気が弾ける音を聴いたりして、チームワーク無しでは生き抜けないマイナス30℃の世界に、思いをはせていました。



9月10日 | 地元ゆかりの弁当作り

島田商工会議所は、島田大祭に向けて、地元の食材をふんだんに使い、大祭をイメージした「さくらめし弁当」の開発を進めており、プラザおおるりで意見交換会が行われました。

会には、地元の飲食店などから、約10人が参加。東京都のフードコーディネーターが考案した試作弁当をみんなで試食し、味付けや盛り付けなどについて、意見を交わしました。

9月21日 | 香ばしい薫りを楽しんで

JR 島田駅前のサンカク公園や市内の店舗で、「100人コーヒー」が初めて開催されました。

イベントには、有名コーヒー店をはじめ、スイーツや雑貨などを扱うブースが多数出店。大きなクスノキの下でコーヒーを片手に、ゆっくりした時間とおしゃべりを楽しむ人たちがでぎわいました。

サンカク公園では、3月までの期間限定で店舗を設置するプロジェクトが開始されています。

